

# 学園だより

Vol.89

2011.3  
Nara Women's  
University



記念館春景(奈良女子大学メールマガジンより)

住環境学と技術者教育 —質の高い住まいづくりをめざして— 瀬渡 章子	1
過去・現在・未来をつなぐ 退職にあたって —泉鏡花と志賀直哉— 弦 巻 克 二 退職の辞 —懐古と感謝— 小 城 勝 相	2
奈良女子大学でのこと 清 水 哲 郎	
寄稿 私のチャレンジ 寺田香奈子・林 尚佳・河西範恵	5
卒業生からの寄稿 仲間と歩む日々 中 道 牧 子 学生生活を振り返って 岩 崎 祥 子	8
新しい世界へ飛び込み 池田実佐子	
就職内定状況(中間集計)	11
クラブ紹介	14
学生生活支援	18
第17回外国人留学生による 日本語スピーチ大会及び学長主催留学生懇親会 平成22年度佐保会奨学金授与式 「廣岡奨学金」について 日本学生支援機構奨学金について 学生相談室から 学生表彰	

# 住環境学と技術者教育

―質の高い住まいづくりをめざして―

瀬渡 章子

生活環境学部  
住環境学科 教授



AKIKO  
SETO

本学に住環境学科の前身となる専攻科が設置されたのは一九五二年、今から六十年ほど前のことです。世の中は戦後の混乱から徐々に立ち直り、高度経済成長時代の入り口にさしかかっていました。都市部では住宅不足が深刻でした。鉄筋コンクリートの集合住宅が建てられ、丘陵地を切り開いてニュータウン建設が始まったのはこの頃です。

住宅の形態が変わり、生活の洋風化が進む中、教育・研究の課題は山積していました。住まいは「生活の器」そのものです。学科では、生活者のニーズを把握し、安心で快適な器づくりを目ざして活動を進めてきました。

学科創設以来、約千八百名の学生が本学科に学び、巣立っていきました。卒業生の活躍分野は、住宅産業、総合建設業、建築設計事務所等の建設業、不動産業、建築設備・材料等の製造業、官公庁、学校など実に多様です。大学院進学者は、修了後、教育・研究分野や高度な専門・技術分野で活躍しています。学科では、このような実績の上に、引き続き幅広く社会に貢献できる専門家を、技術者の養成をめざして教育の一層の向上に努めています。

その一環として、二〇〇五年に日本技術者教育認定機構（JABEE）の「建築学および建築学関連分野」の審査を

受け、その結果、学科の教育活動の質が満足すべきレベルにあること、技術者として活動するために必要な知識や能力の養成に成功していることが認められました。JABEEによる認定は、外部の客観的な「ものさし」によって教育の質が十分に保たれていることが保証されたことを意味します。

この認定を受けるためには教育プログラムの整備や体系化が必須です。認定の基準は、学習・教育目標の設定と公開、学習・教育の量、教育手段、教育環境・学生支援、学習・教育目標の達成、教育改善の六項目と補則から成り、項目ごとに細かな基準を満たさなければなりません。教育プログラムは教育目標を達成しているのか、教育手法の改善のために継続して教育改善活動が行われているのか、などについても厳しく問われます。

JABEEの認定は更新制になっているため、二〇一〇年秋に継続の審査を受けました。この審査では、本学科は国立大学にある唯一の住居系学科として、その長い伝統と古都奈良の環境を活かした教育を行い、アットホームな雰囲気の中で学生同士の密な連携が保たれ、学生に対する教員のケアもきめ細かく行われていることなどが高く評価されました。

今日の状況に目を向けると、日本は人口減少社会に突入し、全国的に空き家が増え、高齢化、少子化が進行しています。女性の社会進出が進み、生涯にわたって働き続けられる環境が求められています。すなわち、二十一世紀、私たちはどこに、どのように住むのが問われているのです。また、住まいづくりは多くの資源、エネルギーを必要とします。環境に負荷をかけない地域特性を生かしたデザイン、美しい町並み、豊かな地域施設の創造など、住環境には計画、設計、環境、構造、管理などさまざまな側面から取り組むべき多くの課題があります。

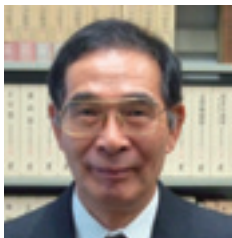
高度経済成長の黎明期に誕生した本学科は、とりまく環境は大きく変わりました。今後も、小規模ながらその特性を活かし、生活者視点から住まいづくりを担う専門家、技術者の養成機関として、その役割を果たしていきたいと考えています。



# 退職にあたって

## ― 泉鏡花と志賀直哉 ―

弦巻 克二 文学部 教授  
言語文化学科 日本アジア言語文化学コース



KATSUJI  
TSURUMAKI

平成十年四月、本学に赴任して十三年、文字通りアツという間に定年を迎えることになりました。

省みれば、七十年安保闘争に向けての学生生活の中で、三島由紀夫に導かれて泉鏡花と出逢い、それが結果的に教育・研究者としての出発になるなどとは夢にも思っていないませんでした。一介の田舎者が、北原白秋の末弟・宮

終二に私淑し、短歌研究が文学部入学の動機だったことを想うと、どれだけの錯覚、縁が自分の生を、しかも充実に支えてくれたことか。学生運動は韻文から散文へと方向転換を迫り、三島が鏡花の「森の紫陽花」を読んで、「紫陽花」の母を書いたという文言を、「紫陽花」を読んで「紫陽花の母」を書いたと誤って記憶し、『鏡花全集』に不幸にして収録されている「紫陽花」のどこに「紫陽花」の母との類縁があるのかの疑問が、鏡花作品への読破へと駆りたてました。昭和四十年代当時は、三好行雄の「今さら鏡花でもあるまい」とか、偶々読んだ小林秀雄の「鏡花作品に現実的素材を求めても無意味だ」などの評論が刺激になって、大学院での鏡花研究を選ぶことになりました。鏡花作品に感動する経験が三好行雄の反撥へ、また、小林秀雄の論は確かに正しいのですが、初期の研究は鏡花作

品の素材を求めての新聞記事などの探索に費やされました。鏡花研究者も少なかった当時、この歩みが躓きでなく、誤解・錯覚がもたらした鏡花研究の、その後の隆盛に寄与した面があるとは思っております。

また、平成十六年七月、本学附属小学校訓導の池田小菊の未発表原稿・資料が、小菊の弟子・武田好昭氏から本学図書館に寄贈され、その資料調査・整理が、同僚の吉川仁子氏と私とに託されました。図書館や記念館での展示や大学の地域貢献という枠を超えて、今は忘れられている小菊の、教育活動、作家活動、戦後の婦人会活動への調査へ、更に小菊の師匠・志賀直哉研究へと拡げられていきました。生き証人を探し、『志賀直哉全集』の「日記人名注索引」などを補うことができるのも、小菊との関係で本学ほど相応しい所はない、恐らく最後の機会ではないかという感を強くしたものです。佐保会の方々、小菊の住んだ鍋屋町の方々、志賀と交流のあった方々の縁者との接触など、或る意味で強いられた仕事ではありましたが、いろんな人間関係を作ることができました。小菊・志賀研究は、高畑の志賀邸旧居の存在という地縁もあり面白い研究対象だと思えます。今後、吉川氏とともに

に小菊・志賀研究を進める学生・院生が出てくる事を期待してやみません。

時を繰ってみれば、退職の平成二十二年度は、志賀達の「白樺」が創刊されて丁度百周年、また、志賀の奈良在住と同じ十三年間、本学に勤めることが出来たことにも不思議な縁を感じております。本学に在職された恩師・森重敏先生、北山正迪先生すでに亡く、比較もおこがましい限りで、どれだけ学生の指導ができたかは忸怩たるものがありますが、本学の発展を祈念しつつ退職の挨拶とさせていただきます。

## 退職の辞

— 懐古と感謝 —

小城 勝相

生活環境学部  
食物栄養学科 教授SHOSUKE  
KOJO

説を依頼されました。原始地球は再現不能なので私の説は永遠に仮説ですが、長年の謎に一つの解答を出した安堵感があります。

これまで化学、生化学、食品学、栄養学、薬理学、中毒学、臨床科学、消化器病学、循環器病学、神経学、農芸化学、薬学等の学術雑誌に二〇〇報ほど英文論文を出しました。少ない業績ですが広さだけなら世界一だと思えます。しかし研究は深さが大切だと痛感しています。私の場合はポストの関係で無理に分野を変えました。私自身は研究を十分に楽しみましたが、若い研究者には一つの分野で深い独創的な研究をされることを切に願います。

皆様方の研究のご発展を祈念致します。最後に、共同研究者の先生方、本研究室出身の八十人を超える学生さん、お世話になった本学の教員・職員、学外の諸先生に深謝いたします。

本学での十七年間が終わりに近づきました。工学部の有機化学分野の出身ですが、薬、理、医、教育、家政、生活環境学部と色々な学部をさまよった結果、本学では栄養学が専門になりました。研究では教育学部のころから医学系の研究者が苦手なテーマ、生体内の微量物質を化学的手法を用いて正確に分析する研究を始めました。昔、ラジカルや酸化反応が専門でしたし、生体内のラジカル反応による酸化ストレスが癌、動脈硬化、糖尿病等の生活習慣病や老化、細胞死など重要な生命現象に関わると言われ始めた時代でした。そこで生体内のラジカル反応において反応論的に指標となりうる脂質ヒドロペルオキシド、ビタミンC（有名なビタミン）だが正確な測定法がなかった！、後には生理活性脂質であるセラミドなどの特異的（生体内の多くの分子の中でそれだけを測定すること）・高感度分析法を開発し、動物実験を用いて生体内酸化ストレスの化学的評価法や影響について研究しました。ヒトの病気に関しては動脈硬化発症に関わる低密度リポタンパク質のラジカル反応を解析し、ヒトに応用可能な診断法を開発し特許も取りました。生業の栄養学では日本ビタミン学会賞も受賞し満足すべき成果だと思えます。

一方、十八歳からもち続けた謎があります。それは地球生命誕生の鍵であるL-アミノ酸生成機構です。アミノ酸にはL-アミノ酸とそれを鏡に映した形のD-アミノ酸があり、よく左手と右手に例えられます。生物のタンパク質にはL-アミノ酸だけが存在します。生命誕生前の地球で起こる普通の化学反応でアミノ酸が生成するとLとDが当量のラセミ体が生成し、1%でも一方が多くなることはないので隕石による宇宙起源説さえ提唱されています。パスツールが一八四八年（私が生まれる百年前）にこの不斉現象を発見して以来、膨大な研究にもかかわらず、L-アミノ酸生成機構に関して実験結果を有する仮説はありません。

地軸が傾いているため地球の運動は不斉です。これがアミノ酸に反映したと考え、不斉の運動をする「地球モデル」を作りましたが不斉誘導は起こりませんでした（残念!!）。ある時、ラセミ体のアスパラギン（アミノ酸の一種）が結晶化において自身と他のアミノ酸類の不斉を同時に誘導する事実を発見し英国化学会速報誌に報告しました。L-アミノ酸セット同時誕生説です。Hot spotに選ばれ、この論文のお蔭で日本化学会、生化学会、農芸化学会、雑誌「化学」、外国雑誌Symmetryから総

# 奈良女子大学でのこと

清水 哲郎

生活環境学部長 教授  
生活文化学科



TETSURO  
SHIMIZU

私が奈良女子大学に赴任したのは昭和五十九年春のことであり、それから二十六年もの月日が流れてしまった。

本学と何か因縁めいた感じを抱いたのは、京大の学生時代に体育会主催で行われた信州戸狩での奈良女との合同スキーツアーに参加した時のことであった。私の高校の校章が桜だったこともあり、奈良女の八重桜の校旗が脳裏に深く焼きついた。その時から約十五年後、本学の教授をしておられた大学の先輩からお声をかけていただき、ずっと何か気になる存在であった本学で教鞭をとることとなった。

当時は確固たる講座制の時代で、着任した家政学部生活経営学科家庭経済学講座において、主に消費者経済学や消費者行動論を担当することとなった。着任当初からゼミ生は多く、今も研究室には優秀な学生さんたちによって書かれた卒論のコピーが大量に保存されている。自然科学系の学部でありながら、社会科学の学科であったこともあり、大半が学部卒業と同時に就職するのが一般的で、かつ就職率も極めて高かったこともあり、大学院へ進学された方は少なかつた。

自身の研究では、大学時代が林政学講座という特異な分野に所属していたため、院生時代には、磨丸太で有名な

北山杉の生産計画モデルを構築するため、周山街道を通って中川にある林産会社に何度も通ったものである。その後、林業からは足を洗い、米、果物等我が国の主要農産物の需要構造分析や需給予測などを行ってきた。オレンジ及び同果汁の輸入自由化を目前にした時期に、輸入自由化が我が国の果樹産業にどのような影響を及ぼすかのシミュレーション分析をおこなったことや外食産業が高齢社会においてどのように展開するのかなどを調査研究したことが印象に残っている。いずれも、農水省から委託された政策的研究が多く、その意味で、わが国の農業政策・食料政策に少しは関与できたのではないかと思っている。

この六年間は、教育研究からは遠ざかり、大学の管理運営面での仕事が増え、特に平成十七年からは久米前学長の任命により副学長をさせていただき、これまで経験したことのない貴重な体験を数多くさせていただいた。外国首脳との会談によく使われる外務省の飯倉別館でのカルザイ大統領歓迎レセプションへ招かれ、アフガニスタン関係者との絆を持つことができたことは大きな財産になった。<sup>1)</sup>

その他、Uー (University Identity) 戦略のもと、大学のブランド力アップ

と認知力向上を目指してさまざまなおことを決断したことも思い出深い。

特に、平成十七年には周辺道路に大学標示版を、また近鉄奈良駅にイメージ広告を設置、平成二十年には近鉄鶴橋駅と阪神三宮駅に大型の駅サインボードを設置することを決断した。駅でのPRは、私学では常識的なことであったが、当時は国立大学法人では極めてめづらしかった。これらは、事務の方々の情報とアイデア提供、また広報企画室員の皆様方のご協力・ご支援によって実現できたものである。さらに、理学部主導でC棟にAED (自動体外式除細動器) の設置が決められたときに、全学的な安全配慮の観点からさらに四カ所設置し、三カ所は二十四時間使用を可能にしたことも決断しておいて良かったと思っている。

最後に、長い間本学でご指導、ご協力を賜りました多くの皆さま方に厚くお礼申し上げますとともに、奈良女子大学の今後の発展を心からお祈りして終わります。

## 恋都祭をふりかえって

寺田 香奈子

文学部 一回生

先頃、本学の大学祭である恋都祭が終了した。恋都祭実行委員であるわたしは、ぽっかりと胸に穴が空いたようにまだまだに上手く頭を切り替えられていない。

四月、晴れてぴかぴかの大学一年生、次々に手渡される新歓のビラ、おいしいお菓子を食べられる茶話会をはじめとして、ついにわたしが入ったのは恋都祭実行委員会、通称「ことじつ」である。

ことじつは人員不足に悩まされており、現在二回生七人・一回生四人という少数精鋭で構成されており、ことじつの本格的な仕事は夏休みくらいから学館の一室を借りて、そこを拠点にして始まる。みんなで学祭企画を練ったり、ダメ出ししたり、企業に電話かけたり、看板を作ったり、文字をひたすら切ったり切ったり…。学祭に食中毒など重大な問題が発生してしまうと来年度の学祭の開催が危ぶまれるので念入りな調整も必要だ。ほかにも小さな仕事でもミスをすればすぐにわかってしまう。学園祭実行委員という名前の響きは派手であるが、作業は意外に地味で責任もあり大変である。

そして秋になり、恋都祭本番がやってきた。普段のどかな奈良女のキャンパスが老若男女多くの人でにぎわっており、サークルの元気でかわいらしい

売り込み、屋台のにおい、きらびやかなステージ、スピーカーから漏れる軽快な音楽、まさに学園祭であった。ことじつは当日、特に多忙で、予想外の出来事に対応したり、サークルの要望に答えたり、来場者の方に道を聞かれたり、ビンゴ大会でやんちゃする子どもをやさしく注意したり、ゴミを拾ったり、やることは

次々と生じ、朝から深夜までおそろいのオレンジ色のことじつパーカーのフードを揺らしながら構内を駆け回っていた。しかし不思議とそれは楽しかった。走り回っているときに、たびたびサークルから「お疲れさま」というねぎらいの言葉をかけてもらったり、さらに来場者の方々からおほめの言葉や応援、期待の言葉をかけてもらったからであるうか。それを聞くと報われた気分になり、自分たちの小さなひとつひとつの仕事は目立たないが学園祭という大きなものを作る上で必要不可欠なものであるということを感じた。

恋都祭を経験したことは多々ある。やりとげることの達成感、仕事への責任、

周囲への感謝、そして大学祭運営は現在しかできないということだ。続けようか迷っていた時期もあったが、そこでやめずにいてよかったと今なら言える。

さて、落ち葉もなくなり寒さも本格的になってきた。そろそろ頭を学園祭気分から切り替えなくてはならない。だが、もう来年度の恋都祭のことを考え始めている。いままでは先輩やOGの方々に頼り切っていたが、来年には後輩ができる。来年にはゲストも来る（かもしれない）。大学生活をもっと熱くするためにやはりきっていかなくては!! みなさんも一緒に恋都祭を盛り上げませんか?



KANAKO TERADA

# 国際学会での発表に挑戦

林 尚佳

大学院人間文化研究科 博士前期課程  
化学専攻 二回生

二〇一〇年五月、アメリカ合衆国ソルトレイクシティにて開催されたアメリカ質量分析学会に参加し、ポスター発表を行ってきました。現在の研究室に配属されてから、国際学会での発表を目標に日々研究に励んできました。最初は国際学会で発表できたらカッコいいなという憧れで発表を決意しましたが、実際は私が思い描いていたようにかっこよく日本へ帰国とはいきませんでした。私の初めての海外一人旅の様様をお話したいと思います。

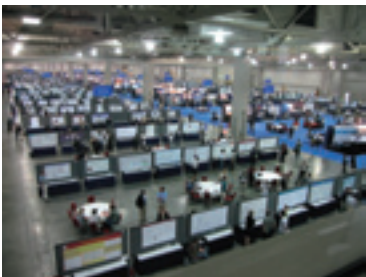
五月二十三日、日本を出発し、翌日サンフランシスコに到着しました。そこで国内線へ乗り継ぐことになっていましたが、もともと乗り継ぎ時間が短く、入国審査場も混雑していたため、乗り継ぎ便を逃してしまいました。もう日本に帰れないのではないかと不安でいっぱいでしたが、乗り継ぎカウンターで何とか新たなチケットを手に入れることができました。ところが次の便は六時間も先で、一人寂しく空港で待ち続けるはめになりました。結局ソルトレイクシティに到着したのは大嵐の真夜中でした。しかし災難はまだ続きます。私のスーツケースが見当たらないのです。ところが親切な韓国人の方が一緒に探してくださり、本当に有り難かったです。二十五日、季節はずれの大雪が降る朝、

会場に着いてまずその広さに驚きました。

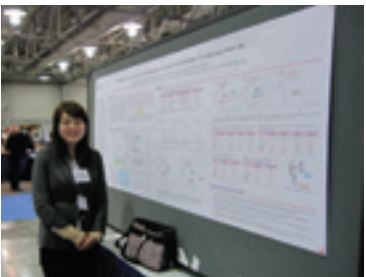
ここに世界中から約六千人の研究者が集まりました。何より日頃私が使っている質量分析計を使って研究をしている方が、こんなに大勢いるということに驚きました。

国内の学会では何度か発表したことがあったのですが、私が今まで接してきたのは小さな世界だったのだなと思いました。

二十七日、ついにポスター発表の日がやってきました。ポスターのパネルに來てくださった研究者や学生に対して研究成果を発表し、さらにデイスカッションもしました。何より嬉しかったことは、化学を通して世界中の色々な研究者と話せたことです。「面白い研



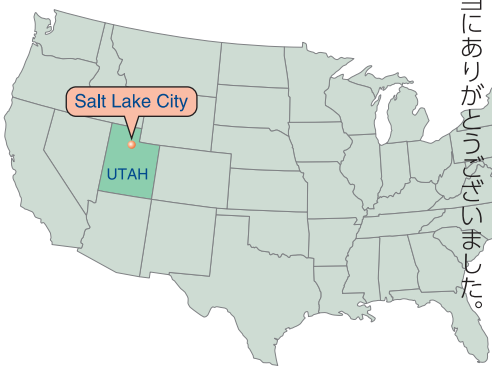
学会会場風景



ポスタープレゼンテーションの前で

究だ、これからも頑張つて」と言われた時は本当に嬉しかったです。こゝまで頑張つてきて本当に良かったなと思いましたし、これからももっと頑張りたいと、研究に対するモチベーションも上がりました。

今回の学会発表の旅で、信じられないような状況に何度も遭遇しましたが、この旅は私にとって大きな自信となったと思います。学会発表を通して様々な国の研究者とデイスカッションすることができ、日本にいただけでは学ぶことのできない多くの事を学ぶことができました。普段の大学生活では体験できない貴重な経験をさせてくださった先生や、旅の途中で助けてくださった皆さんの方々に、この場を借りて感謝の気持ちを贈りたいと思います。本当にありがとうございました。



NAOKA  
HAYASHI

# 熱い思いと、汗はだがける壁

河西 範恵

生活環境学部 生活健康・環境学専攻 二回生  
生活環境学部 生活健康・環境学専攻 二回生

NORIE  
KAWANISHI

みなさんは、この奈良女子大学にスキー部、スキーサークルが存在することを御存知ですか？体育会スキー部の「クリスチャニア」、同好会の「ジャングルジム」。現在スキーに関する団体は、この二団体が奈良女子大学には存在しています。私は前者、クリスチャニア所属です。

四歳で出会ったスキー。習い事として入っていたスポーツクラブがシーズン中開設していたスキースクールに、毎年冬と春の二回参加していました。一緒に参加している友達は、家族旅行でもスキーに行っていて、とても上手。「もっと滑ってほしい、もっと上手くになりたい」その願いは年々強くなっていきました。

そして、その願いを叶えるチャンスです。私は奈良女子大学に入学して手にしたのです！

今までの人生で滑ってきた分と同じくらいの日数を、一年で滑りました。ゲレンデ近くの民宿でお手伝いしながら、先輩を始め色々



ゲレンデの様子(前シーズン)

な方にご教授して頂きました。その甲斐があって、私は関西学生スキークラブ対抗戦で新人女子三位という好成績で前シーズンを終了することが出来ました。

実はこの大会、関西学生スキークラブ連盟という団体に所属している学生が主体で運営している大会なのです。そして私は、今はその大会役員として、前年は次期大会役員として、大会に関わってきました。

「ここでもう一つ質問です。みなさんは、スキーをした事がありますか？」「ない」、「修学旅行で」、「家族で」。私の出身高校では、男女ハンドボール部が冬の合宿でゲレンデへ行くと言っていました。このような答えが、大多数を占めるのではないのでしょうか。

現在、スキーのスポーツ人口は減少の一途を辿っています。連盟に所属している団体も、部員数の減少に頭を悩ませています。各々の団体に所属する部員が少なく、連盟に所属する人数も少なく、人数が集まらないうと、運営費も集まらず財政難に陥ってしまいます。私が一番恐れているのは、大会に出場する選手の人数が減って、大会が白けたり盛り上がらなかつたりしてしまう事です。

私達役員は、今年度から色々な策を

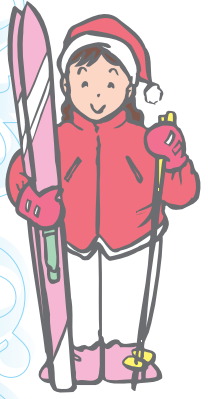
打ってきました。内輪の交流イベントを盛り上げたり、他の団体とも連盟として交流したり、今年度の大会も規約を改変したり、大会



先日行われた関西学生スキークラブ連盟の総会の様子

中でも他のメンバーと交流出来るようなイベントを企画したりと尽力していきます。

この努力は今年度だけで終わらせません。私には役員を引き継ぐ後輩が居ないため、来年も役員を務めます。クリスチャニアも部員不足は深刻な問題なのです。でもこれは私にとってチャンスとも言えます。私は来年も努力出来ます。大好きなスキーのために。



THE



## 仲間と歩む日々

中道 牧子

文学部 国際社会文化学科  
地域環境学専攻 平成二十一年卒業  
(例)JTB西日本MAKIKO  
NAKAMICHI

奈良女での生活がつい昨日の様に感じるほど、卒業してからの二年間はあっという間に過ぎました。振り返ってみると、奈良女で過ごした四年間は、今の私に非常に大きな影響と素敵な出会いを与えてくれました。

E.S.S.に所属していた私は、クラブ活動に非常に没頭していましたが、今考えると大切な仲間の存在があったから、あそこまで一生懸命になれたのだと思います。夜中まで一緒に練習に付き合ってくれた先輩や同期、私のことを頼ってくれた

後輩、切磋琢磨した他大学の友人など、仲間がいたから最後までクラブ活動を頑張れました。奈良女で過ごした四年間は本当にかけがえの無い時間でした。



E.S.S.所属時の写真

そして私は今、京都で団体旅行の営業マンとして働いています。旅行の営業と言っても、皆さんが想像するような店舗でのパンフレット商品のご提案ではなく、企業や様々な団体の職場旅行・研修

旅行・視察・会議等々、お客様のニーズに合わせて一から旅行をアレンジし、打合せ、添乗と全てを行う営業です。小さい頃から地図が好きで、地域環境学講座に在籍していた私にとって、旅行会社は非常に魅力的な就職先でした。入社が決まった時には本当に嬉しく、希望に満ち溢れて入社しました。

しかし実際に入社してみると、思っていた以上に体力的にも精神的にもつらい仕事で、例えば一日中ビルの上から下まで飛び込み営業をしたり、添乗では夜中まで立ちっぱなしで見回りをしたり。成績も大してよくない私に上司から喝を入れられることもしばしばで、よく泣きながら家に帰りました。

そんなつらい社会人生活ですが、奈良女時代と同様に、仲間の存在が大きな支えとなっています。私の支店には私の他に四人の同期が配属になったのですが、何かつらいことがあれば励まし合います。また時には指摘しあったり、ぶつかった



支店の同期と行った旅行でのヒトコマ

りすることもあります。休みには一緒に旅行に行くなどと公私ともに仲良くしており、なによりのライバルでもあります。そんな彼らが居なければ、私は続けてこれなかったのではないかと思います。

また、大学時代の友達とは今でも深い付き合いがあります。休みには集まり、お互いの現状について語り合い、非常に心地よい時間を過ごしています。一緒につらい事を乗り越えたからこそ、二年間経っても昨日まで一緒に居たかのように、盛り上がる事が出来るのだと思います。

そんな仲間の存在のお陰もあり、最近では営業の仕事も面白くなってきました。様々な業種のお客様と出会った、大きく成長できた二年間でした。また、添乗に行き、無事にツアーが終わった際に「ありがとう」と感謝の言葉を直接、現場で聞けるといのは、この仕事のなによりのやりがいだと感じています。「お客様と一緒に作り上げてきた旅行の添乗にいく」こんなにもお客様と深くお付き合いできる仕事はないと思います。辛い事も多い仕事ですが、その分大きなものが返ってくる。そんな仕事をこれからも仲間達と共に頑張っていきたいと思えます。

# 学生生活を振り返って

岩崎 祥子

大学院人間文化研究科 博士前期課程  
生物学専攻 平成二十二年修了  
株式会社島津製作所



SHOKO  
IWASAKI

現在、私は分析装置の開発に携わっています。分析装置は食品、医薬品、化学、電気など様々な産業に通じます。お客様に装置の技術説明を行うこと



現在使用している装置

と、また、を通してお客様の声を装置の開発に活かすことが私の仕事です。二〇〇九年秋、半年間の新人研修を終え、現在の部署へ配属されました。まずはやってみることに。どんどんと外へ出ることに。そんな上司の方針のもと、新人でありながら様々な仕事を経験させていただきました。分析についてはある程度勉強してきたものの、現在担当する分析装置に関しては全くの初心者。社内で慌てて準備をする私もお客様の前へ出ると一転、それなりの経験があるように技術説明をします。また、装置の開発では、機械、電気、そしてソフトウェアなど未知分野の知識も必要となり、資料やインターネットで用語を調べる毎日。そんな綱渡りの一年半も過ぎ、いつの間にか少しずつ仕事をこなすようになっていきます。

そもそも私は大学時代、自分は何をしたいのか、自分に何ができるのか、模索する日々を送りました。そのうち、「伝えること」を仕事にしたいと考えようになり、当時教員を目指したこともあります。しかし、就職活動をするうち、他にもたくさん選択肢があることを知ることになりました。縁あって現在の会社に勤めることになりました。男性が多い会社でありながら、私の所属する部署は女性が多く、結婚し、子育てしながらも働き続けている先輩も多くいます。そして、私もそのような先輩方を見て、将来を見据えて働くことができています。

「ずっと働き続けたい」という意識をもつようになったのは大学時代にさかのぼります。私が三年間研究室でお世話になった春本晃江教授は女性研究者。仕事と家庭の両立をされている姿を身をもって示して下さいました。さらに、女性の働きやすい環境を整えるため、女性研究者を支援するプロジェクトに尽力されており、私も微力ながらプロジェクトに携わらせていただいたこともあります。このような経験を通して、働く女性への憧れをもつようになりました。

学生生活を振り返って思うことは、奈良女子大学で、そして、春本研究室

で過ごした日々は私の中で貴重な財産となり、今につながっていると思います。女性として働くことへの意識はその一部であり、様々な経験、そして人との出会いを通して、その他にもたくさんの方から学ぶことができました。それらを心の糧に、更なるスキルアップを目指して仕事に励む毎日です。



職場での1枚

最後に、学生時代の仲間はとても貴重です。様々な道へ進んでいる仲間と語り合うことはとても興味深く、刺激を受けるものです。奈良女生のみなさん、歴史ある奈良での学生生活を満喫してください。

# 新しい世界へ飛び込み

## 池田実佐子

生活環境学部 人間環境学科  
生活システム学専攻 平成十八年卒業  
最高裁判所 司法研修所  
(配属先 大津地方裁判所)



MISAKO  
IKEDA

今でも、近鉄奈良駅から奈良女子大学へ向かう小道や和やかな中庭、歴史を感じる講堂、友人と過ごした教室に食堂：奈良女子大学で過ごした様々なシーンが鮮明に蘇ってきます。

私は、大学を卒業後、ロースクールの未修者コースに進学しました。そして、司法修習生活を終え、今年から弁護士として働くこととなっております。

### 「被告人は無罪」

この言葉を法廷で直接聞くことはできませんでしたが、弁護修習中、後に無罪判決を得ることとなる刑事事件に携わることができました。有罪率の極めて高い我が国で、このような事件の捜査段階から公判に立ち会うことができたことは、とても恵まれた経験でした。

司法修習では、毎日が新しい経験の積み重ねでした。検察修習に始まり、裁判修習、弁護修習と、法曹三者其々の内部に入り、実務を学びました。

検察修習では、被疑者の取調べを担当し、本当に彼（彼女）が罪を犯したのか、その合理的疑いをさしはさまない程度の証拠があるのか、その上でどれほどの求刑をするのが正義にかなっているのか、検察官が常に頭を悩ませる難問に真剣に向き合いました。修習生が担当した事件は、比較的軽微で自由も得られており、あとは起訴すべきか

否か、起訴をするなら求刑をどの程度にすべきかが問題となる事件が大半でした。とはいえ、彼らが罪を犯した背景、今後の更生可能性等を判断するためには、取調べで様々な事情を聞きださなければなりません。一対一で向き合い彼の本心を引き出す真剣勝負でした。改めて、無辜の人に誤って刑罰を負わせないとともに、社会のために罪を犯した者に対する適正な刑罰を求める検察官の重責を痛感しました。

裁判修習では、裁判官室で毎日過ごし、裁判官が法廷の裏でどのように執務をしているのか間近で体感しました。事件記録を検討し、法廷に立会い、その後事件について裁判官と自由に議論することを繰り返し、公平な立場で判断を下す裁判官の職務を学びました。

弁護修習では、民事事件についても法律相談や法廷等、担当の先生に付いて回りました。依頼者にとって弁護士に相談することは一生にあるかないかの重大な出来事ですので、常にそのことを自覚し、法的アドバイスのみならず精神的な支えにもなれる「人間力」が試されることを実感しました。

また、私が司法修習をスタートさせたのは、ちょうど裁判員裁判が始まって間もない時期でした。そのため、日本の刑事手続きを激変させるこの新制

度を充実したものとするため、法曹三者が各々の立場で、試行錯誤し協力し合いながら手続きを進めていく姿を目の当たりにしたことも、この時期ならではの大きな収穫でした。

奈良女子大学に在籍中のみなさんは、お一人お一人様々な期待と不安を抱えていることと思います。私は他学部から法律の世界へ飛び込みました。ただ弁護士という職業に対する純粋な興味を胸に、基本書を読み進め新たな知識を得ることに楽しさを感じながら受験生活を過ごしました。みなさんにも、純粋に学びたいと思う世界で学ぶことの楽しさを感じながら、一歩ずつ未来の自分へ近づいていってほしいと心から願っております。私もこれから勝負、一生勉強の日々です。同窓生として、共に充実した日々を送りましょう。

# 就職内定状況(中間集計)

平成22年度(2011年春)卒業・修了生にとっては、「超氷河期」とも言われる就職戦線。昨年に引き続き、厳しい就職環境となっています。

就職活動中の人にとっては大変厳しい状況ですが、大学の教職員の支援も受け、最後まであきらめずに希望の就職先を見つけてほしいものです。

また、平成23年度(2012年春)卒業・修了予定者については、これから本格的に就職活動を行うにあたって、どのような状況であっても対応できるよう、入念に準備をして下さい。

以下は、平成22年度卒業・修了予定者の平成22年12月15日現在の就職内定状況の中間集計です。

## 平成22年度卒業・修了予定者の内定先企業等一覧

【学部】

( )内は、複数内定者の人数を示す。

産業別内訳		就職先企業等名称		
		文学部	理学部	生活環境学部
農業			吉浦牧場	
建設業		積水ハウス、中日本高速道路	パナホーム和歌山	岩水開発、TAK-QS、パナホーム、四電工
製造業	食料品・飲料・たばこ・飼料		あわしま堂	ドンク、明治製菓、メロディアン 森永乳業、ユーハイム、六花亭製菓
	繊維工業		ユニチカ	アイジーイー、岡本
	印刷・同関連業		大日本印刷、DNP西日本	グラフィック
	化学工業、石油・石炭製品	東興薬品工業 ノバルティスファーマ	アストラゼネカ、三栄源エフ・エフ・アイ 日本全薬工業、菱電化成、湧永製薬	アルビオン
	鉄鋼業、非鉄金属・金属製品	アサヒホールディングス、オンダ製作所		
	汎用・生産用・業務用機械器具		東芝セミコンダクター社 日本電算シバウラ、三菱農機	デンソー
	電子部品・デバイス製造業	日立電線	住友電気工業	
	電気・情報通信機械器具	パナソニック電工	光洋サーモシステム 日立製作所、富士通テン	パナソニック電工インテリア照明
	輸送用機械器具		富士車輻	
	その他	日本山村硝子 ユニソン		オーリス、クリナップ 丸一、ヤマハリビングテック
情報通信業	アバンセシステム エフ・シー・エス 中央出版 テレビ大阪 長崎放送 プロダクション・アイジー	NSD、NTTデータ 関電システムソリューションズ 国建システム、コベルコシステム コンピュータ・ブレインズ さくらケーシーエス、TIS ドコモモバイルメディア関西 野村総合研究所 パナソニックITソリューションズ 東日本電信電話 三菱電機情報ネットワーク ワークスアプリケーションズ	NTTデータ オーグス総研 ゲンダイエージェンシー	

## 【学部】

( )内は、複数内定者の人数を示す。

産業別内訳		就職先企業等名称		
		文学部	理学部	生活環境学部
運輸業		東海旅客鉄道、東日本旅客鉄道		
卸売・小売業	卸売業	NI帯人商事、西部ガスエネルギー 住電トミタ商事、ひかりのくに	アイティフォー、オービック システナ、三協エアテック	北野木材、清原、コイズミ照明 サンゲツ、富永貿易
	小売業	青木松風庵(2) カインズ	ニトリ 西松屋チェーン ハートフレンド	青木松風庵、ヴィ・ド・フランス シャルドネ、新保哲也アトリエ セガメディクス、ニトリ マイカルカンテポーレ、やずや
金融・保険業	金融業	イオンクレジットサービス、愛媛銀行(2) 遠州信用金庫、大阪府中小企業信用保証協会 関西アーバン銀行、京都信用金庫 中京銀行、長野銀行、丸三証券	関西アーバン銀行、岐阜信用金庫 第三銀行、野村證券、八十二銀行 みずほフィナンシャルグループ	青森銀行、いちよし証券 伊予銀行、磐田信用金庫 仙南信用金庫、東洋証券 三井住友カード、三菱東京UFJ銀行
	保険業	日本生命保険相互会社	あいおいニッセイ同和損害保険	
不動産業・物品賃貸業	不動産取引・賃貸・管理業			三井不動産住宅サービス関西
	物品賃貸業			小山
学術研究、専門技術サービス業			NECフィールディング	日本化学繊維検査協会 日本繊維製品品質技術センター
宿泊業、飲食サービス業		くらコーポレーション		
生活関連サービス業、娯楽業		アクトス、キョードー関西グループ 高見、日本セレモニー、H.I.S.		オーグースポーツ ボン・マリアージュ
その他サービス業				尼崎市スポーツ振興事業団
教育・学習支援業	学校教育	公立教員	愛知県教育委員会(高等学校)、大阪府教育委員会(高等学校) 大阪府教育委員会(小学校)、京都市教育委員会(小学校) 京都府教育委員会(小学校)、神戸市教育委員会(小学校) 堺市教育委員会(小学校)、長野県教育委員会(小学校) 名古屋市教育委員会(小学校)、兵庫県教育委員会(小学校)	愛媛県教育委員会(高等学校)、大分県教育委員会(中学校) 大阪市教育委員会(小学校)、京都市教育委員会(小学校) 富山県教育委員会(高等学校)、奈良県教育委員会(中学校)
		私立教員	山梨学院大学附属中学高等学校	暁中学校・高等学校、大谷中学校・高等学校 開明中学校・高等学校、平安女学院中学校・高等学校
	事務他	徳島大学、奈良女子大学	鳥取大学	
	その他教育、学習支援業	ECC外語学院、京進 富山育英センター	さなる、進学ゼミナール 成基、ブレーション	
福祉業・サービス業	医療業、保健衛生	豊岡会グループ		多根総合病院、社会保険診療報酬支払基金
	その他のサービス業	オーリッド 住信ビジネスサービス		東京海上日動キャリアサービス 東電ピーアール、ベイエリアサービス
公務員	国家公務	自衛隊		
	地方公務	京都府、滋賀県、長野県 奈良県(2)、安城市 小牧市、堺市 神奈川県警察	生駒市 京都市 神戸市 福井市	愛媛県、徳島県、赤磐市、生駒市 金沢市(2)、酒田市、佐世保市、塩尻市 静岡市、富山市、名古屋市長、福岡市 浜名湖競艇企業団、奈良県警察

平成22年度卒業・修了予定者の内定先企業等一覧

【大学院(博士前期課程)】

( )内は、複数内定者の人数を示す。

産業別内訳		就職先企業等名称			
		国際社会文化学 言語文化学 人間行動科学	数学 物理科学 化学 生物科学 情報科学	食物栄養学 生活健康・衣環境学 住環境学 生活文化学	
建設業			竹中工務店	ICU一級建築士事務所、平成建設	
製造業	食料品・飲料・たばこ・飼料		オイシス	サッポロビール、サンヨー食品 ファイン、ヤマサ醤油	
	繊維工業			ワコール	
	印刷・同関連業		凸版印刷		
	化学工業、石油・石炭製品		住友精化、大和化学工業、日本化薬 MIYUKI、ワイエムシイ	田村薬品工業	
	鉄鋼業、非鉄金属・金属製品		住友電気工業、日立造船		
	汎用・生産用・業務用機械器具		住友重機械工業、東芝(2)、初田製作所		
	電気・情報通信 機械器具		シャープ(2)、パナソニック電工 日立製作所、富士通(3)、三菱電機(6)		
	輸送用機械器具		日産自動車(3)、ROKI		
	その他		呉竹(2)	大建工業(2)	
情報通信業		インフォメーションディベロップメント	アドソル日進、KDDI JR西日本ITソリューションズ デジタル・ワークス トヨタコミュニケーションシステム 富士通エフ・アイ・ピー 三菱電機コントロールソフトウェア 三菱電機マイコン機器ソフトウェア	TIS プロアシスト(2)	
小卸売業・ 小売業	卸売業		阪本薬品工業、日本電産(2)	スターゼン	
	小売業		青木松風庵		
保険業・ 金融業	金融業		足利銀行、三菱UFJニコス	四国銀行	
学術研究、 専門技術サービス業			高エネルギー加速器研究機構 阪大微生物病研究会	理化学研究所脳科学総合研究センター	
生活関連サービス業、娯楽業		つらつら椿			
教育・ 学習支援業	学校教育	公立教員	滋賀県教育委員会(小学校) 奈良県教育委員会(小学校)	大阪府教育委員会(高等学校)(3) 神奈川県教育委員会(高等学校) 京都市教育委員会(高等学校)	
		私立教員		秀明中学校・高等学校、昇陽中学校・高等学校 東洋英和女学院中学部・高等部	
	事務他	大阪教育大学			
福祉業	医療業、保健衛生	飛鳥学院児童家庭支援センター			
その他サービス業			WDBエウレカ	アース環境サービス 北電気技術コンサルタント	
公務員	国家公務		近畿財務局	厚生労働省関東信越厚生局	
	地方公務	福井県、和歌山県警察	佐賀県、広島県	京都府	

## 体育系

### ■ソフトテニス部

①12人②月・木16:30～、土13:00～学内テニスコート③月500円④私達は春・秋にあるリーグ戦での昇格に向けて日々練習に励んでいます。他校とも練習試合等で交流があります。イベントも盛りたくさん♡さあ、熱いハートを持ってコートへ行こう！

### ■卓球部

①5人②水・金16時半～20時、土9時～12時半③前・後期各500円④私たちはいつも一生懸命に、そして楽しく卓球に励んでいます!! 試合などで他大学の友だちがたくさんできます♪初心者・経験者どなたでも大歓迎♡私たちと一緒に卓球しましょう☆

### ■なぎなた部

①10人②火・木16時半～、土9時半～③月500円④私たちがなぎなた部は皆で仲良く活動しています。部員のほとんどが大学から始めた初心者ですが、卒業までに二段を取得できます! 興味のある方は是非見に来てください♪部員一同楽しみに待っています☆

### ■バスケットボール部

①12人②毎週月・木16時半～19時、土9時～12時③毎年5,000円+登録料3,000円④バスケが大好きという方、大歓迎です。時に楽しく、時に厳しく私達と一緒にバスケをしませんか。マネージャーも大歓迎です! ぜひ一度見に来てください。

### ■バドミントン部

①16人②月・水は16時半～、土は13時～③月1,000円④私達は4部昇格を目指して練習に励んでいます。経験者・初心者を交えてバドミントンをする楽しさはもちろん、練習を乗り越えた達成感も味わえます。イベントごとのレクも魅力の一つ! 興味のある方は体育館へ!

### ■硬式テニス部

①11人②毎週火・水・土と隔週日曜③月1,000円④みんなテニスが大好き♡笑いの絶えない賑やかなクラブです。先生やコーチの熱い指導を受けられるので、テニス歴関係なし! 初心者大歓迎! 私たちと刺激的な大学生活を送りましょう。

### ■サッカー部

①21人②水曜16時半～土曜13時半～③月500円④ほとんどの部員が大学からサッカーを始めました。頑張り次第でぐんぐん上達できます! プレーヤー、マネージャー共に大募集。サッカー楽しいよ! 見学も体験も大歓迎! ぜひグラウンドへお越しください。

### ■水泳部

①7人②シーズン中(4～8月)は、平日2回以上③0円④初心者も大会上位入賞者もマネージャーも(笑)みんな仲良く楽しく泳いでいます♪奈良教育大学との合同練習のため、友達2倍、先輩2倍!! ちょっとでも興味を持った方、いつでも入部大歓迎です♡

### ■スキー部

①3人②シーズンオフは週2回、シーズン中は白馬五竜で合宿と居候、よませスキー場で大会。③初年度無料、2回生からは年1万円④白銀の世界を滑り抜ける爽快感は、1度経験するとやみつきに!! 初心者大歓迎!! 私達と一緒にスキーをしてみませんか?

### ■合気道部

①24人②火木17時半～第二体育館、金18時～鴻ノ池道場③月1,600円(オフの月は無し)④合気道は、体一つで出来る武道です。憧れの格好いい袴もはけます。強く凛々しい女性になりましょう。素敵な師範、コーチと共に貴女を待っています!

### ■アイススケート部

①6人②不定期③特になし④私たちは大阪のリンクで甲南、大阪府立大学と合同で練習しています。部員ほぼ全員が初心者ですが、ジャンプもスピンも出来るようになります☆好きな音楽・好きな衣装であなたも氷上で舞ってみませんか?

### ■弓道部

①12人②毎週火・木曜16:30～、土曜9:30～③毎月1,000円④弓道を通して、礼儀作法を学んだり、心を磨き、体を鍛えることができます。また弓を引く時の心の気持ちいい引き締めりは格別です。初心者も大歓迎でお待ちしています!

### ■剣道部

①7人②月・木・土③月1,000円④経験者も初心者も大歓迎! 稽古後の爽やかさはたまりません。先輩方のアドバイスにより着実に技術が向上します。楽しい大学生活が送れるうえに社会へ出てから役立つ作法が学べる剣道部へ、是非見学・体験にきてください♡



## ■競技かるた部

①10人②毎週月・火・木16時30分～③年間1,000円④かるた＝地味、ダサい、難しそう…そんなイメージがありませんか？しかし、それは違います!! やってみれば分かります!! かるたはやってみてその魅力が分かるスポーツです! 見学に来て、ぜひ体験してみてください☆

## ■KGK ーキリスト者学生会ー

①3人②毎週1回の聖研、春季・夏季キャンプ、クリスマス会等③無料④今も昔も、世界中の多くの国の人に読まれ続けてきた聖書について学んでみませんか？クリスチャンの方、聖書に興味のある方、学年問わずどなたでもぜひ一度遊びに来てください♡

## ■古美術研究会

①60人②月曜昼休みミーティング、月1回遠足、年1回合宿・部誌発行③入部時1,500円④奈良・京都を中心に寺社仏閣・お祭り・年中行事を見学に行きます。堅苦しくなくゆったりとした活動です。興味のある方は気軽に参加してみてください。

## ■茶道部

①12人②火曜昼休みミーティング、木曜お稽古、10月に秋茶会、春夏に合宿③月2,500円程度④学館2階和室にて3人の先生方に教えていただいています。初心者も多いので、少しでも興味がある方は、一緒に茶道しませんか？ぜひ、お気軽にご参加ください。

## ■写真部

①10人②月に1回集合、夏季撮影合宿、学祭展示など③なし④写真に興味のある方、大歓迎です!! どんなカメラでもOKです! 時々撮影会をしたり、月に1回集まって皆で撮った写真の見せ合いもします。入部すれば暗室も使えます! 未経験者大歓迎☆

## ■陸上競技部

①11人②月・水・木③なし④ジョギングを楽しみたい人から選手として活動している人まで色々な人がいます。定期的なイベントや、マラソン・駅伝大会への参加などもあり、先輩や後輩、専門関係なく皆とすぐ打ち解けること間違いなし!! 一緒に奈良を走りませんか？

## ■バレーボール部

①20人②火・金曜17時から、土曜13時から第一体育館にて③月1,000円④春と秋に行われるリーグ戦で昇格を目指して練習しています。部員同士とても仲が良く、みんな真剣にバレーに取り組んでいます。初心者・経験者問わず大歓迎です!! ぜひ見学に来てください!!

## ■ハンドボール部

①15人②毎週火・金曜③月に500円④私たちは春と秋にあるリーグ戦に向けて日々練習を頑張っています!! 部員の大半が初心者なので、ハンドをやったことのない人でも大丈夫☆私たちと一緒にハンドボールをしてみませんか？☆マネージャーも募集中☆☆

## ■舞踊部

①16人②毎週月水木16時半～19時頃③月300円④クラシックバレエを基礎に、ヒップホップ、ジャズダンス、宝塚など、様々なジャンルのダンスを踊っています。初心者大歓迎!! 基礎から丁寧に教えます。裏方も募集中☆舞踊部でなら、充実した大学生活を送れますよ。

## ■モダンダンス部

①20人②毎週月・金16時半～③月1,000円④創作ダンス、ジャズダンスを中心に様々なスタイルのダンスに取り組んでいます! プロのレッスンも受けられますよ☆発表会・学祭などイベントも盛り沢山! 楽しい大学生活になりますよ! 初心者大歓迎です♪♪

## ■ラクロス部

①24人②月・火・木16:30～、土9:00～③毎月1,000円④ラクロスは、大学から始めるスポーツだから、スタートラインはみんな同じ! 日本代表だって夢じゃない!! 他大学の友達もたくさんできます。仲の良いラクロス部を是非見に来てください☆

## 文化系

## ■E.S.S.

①20人②放課後と昼休みに週2回ずつ全体活動③入部時1,500円、年間4,500円④ディベート、ディスカッション、スピーチ、ドラマを通して英語能力の向上を目指しています。E.S.S.に入れば有意義な大学生活が送れる事間違い無し! かけがえのない仲間ができますよ☆

## ■演劇部 劇団いちご大福

①11人②水・金16:30～③公演ごとに④初心者と経験者が入り混じり、皆1つになり舞台を作り上げます。体一つ、後はやる気さえあればどんなことだって挑戦できます。いちごの舞台が君を待っている! 役者・裏学問わず部員募集中。まずは学館3階和室へ!!

## ■華道部「花こみち」

①16人②毎週月曜日17時～中集会室にて③お稽古代1回1,600円④池坊先生をお迎えしてみんなで楽しく生け花をしています。初心者の方も2・3回生の方も大歓迎! 兼部も出来るので、興味のある方はいつでも見学や体験いらしてください♪



## ■教育問題研究会

①11人②週2回の例会、長期休暇(春・夏休み)中の合宿③月500円④堅苦しいイメージを持たれがちですが、そんなことはありません！教育に関することなら、何でもOKです。昨年は民主党政権による高校無償化の問題点などをやりました。気軽に来てね！

## ■漫画研究会

①70人②火・金曜16:30~③入会金1,000円、前期後期各1,000円④主な活動は年4回の部誌発行、学園祭でのイベント開催です。普段は学館「大和」で日本の誇る様々なサブカルチャーについて皆で楽しく語り合っています。興味のある方は気軽にどうぞ。

## ■書道部

①25人②毎週月曜学館3階和室③前・後期各5,000円④主に学祭での書展、夏の合宿、その他文部科学省認定の書写検定も行います。自由に作品制作をしており、講師の先生と共に楽しく活動しています。初心者も大歓迎です。

## ■社会科学研究会 葦の会

①9人②週1回の部会、春・夏休みに合宿③半期500円④少人数で和気あいあいとやっています。テーマは年ごとに違います。昨年は原発や熱帯林伐採など環境破壊の問題をやりました。現代社会について知りたい・考えたい・語りたい人はもちろん、初心者も大歓迎☆

## ■みどり組

①17人②毎週月曜昼休みのミーティング、月1または季節毎に活動を企画。③活動時必要に応じて徴収。少なめです。④身のまわりの自然とふれあい楽しめる企画を考え活動しています。ぜひ、気軽に遊びに来てください。

## ■天文部

①14人②火曜昼休みのミーティング③年1,000円④毎週火曜日の昼休みに学館3階和室でミーティングをしています。不定期で観測会を行ったり、夏休みには合宿、学園祭ではプラネタリウムをします。星が好きな方はぜひ来てみてください!!

## ■恋都祭実行委員会

①11人②月・水昼休みのミーティング、合宿③なし！情熱で頑張ってます！④通称コトジツは奈良女の学園祭「恋都祭」を成功させるために日々活動しています。運営、企画、看板作りに至るまで☆私たちと一緒に素敵な思い出をたくさん作りましょう♡♡

## ■わかたけ会

①23人②火曜日昼休み、月一回プレイ③交通費のみ④京都府八幡市の障がいを持つ子ども達と交流しています。年に二度、市内の作業所で働く方達とも交流します。ボランティアに興味のある方、やりがいのあるサークル活動をしたい方、ぜひ来てください。

## ■点訳部

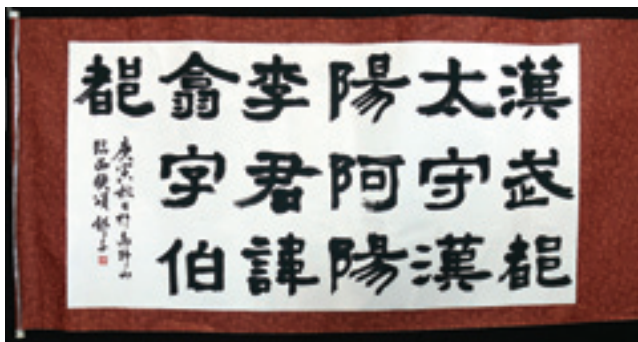
①13人②週1③なし④普段はのんびり点字の練習や盲人会の方と手紙のやりとりをし、年に一回部誌を発行、不定期で学外のイベントに参加しています。夏休みには片道交通費のみで静岡合宿に行けます。初心者・兼部・途中入部OK♪ぜひ一度遊びに来てください。

## ■美術部

①17人②水曜昼休みにミーティング③年1,000円程度④個人制作を中心に、自由参加で美術館に行ったりもします。楽しくアットホームな部活です。描くことが好きな人、美術に興味がある人など、気軽に見学に来てください。お待ちしております。

## ■文芸部

①26人②月2回集合、毎月の部誌発行③なし④貴女は本が好きですか？読むことや書くことが好きな方、誰でも大歓迎です☆自分の書いた文章を「本」として形に残しましょう！基本的にいつでもフリーダムでゆるーい部活です(笑)いつでもお気軽にどうぞ♪



## 音楽系

### ■ 箏曲部「飛鳥会」

①17人②ミニコンサート(春)・定期演奏会(秋)  
③月750円④箏は決して難しくなく誰でも楽しめるものです。実際に触ってみて、その魅力を感じてください。部員の大半が大学から始めたので未経験者大歓迎！気軽に遊びに来てください。三味線も弾けますよ♪

### ■ 軽音楽部

①45人②火曜昼休みミーティング、年4回ライブ③月1,000円④いま話題沸騰中の軽音楽部です！音楽好きの仲間達と楽しくライブやっています。ライブハウスでの活動や他大学との交流で友達も増えますよ☆初心者大歓迎！ぜひ一度見に来てください。

### ■ 能楽部 観世会

①12人②毎週火・木③月2,000円④伝統芸能の能楽を実践しているサークルで、プロの能楽師のご指導のもと、謡や舞などの練習をしています。アットホームな雰囲気の中で楽しく活動しています。大学で新しいことを始めてみませんか？お待ちしております☆☆☆

### ■ Jazzy Club

①34人②火・木・土曜日に音楽棟で練習(強制ではありません)③入部費1,000円と年間4,000円④ジャズのスタンダードからスカやポピュラーまで様々な種類の音楽を楽しんでいます。音楽が好きなら、旅行が好きなら、ぜひ吹奏楽部に遊びに来てください♪

### ■ 音楽部

①29人②毎週月・水・金の17:30~19:30③月1,500円④女声合唱のサークルです。演奏会やコンクールのほか、他大学との交流も盛んに行っています。プロの先生の本格的な指導も受けられます。経験の有る人も無い人も、私たちと合唱を楽しんでみませんか？

### ■ piano-forte

①56人②水16:30~ミーティング・恋都祭でのピアノカフェ・定期演奏会③前後期各3,000円④冷暖房完備の練習室があり、自由にピアノを弾くことが出来ます。和気あいあいと楽しいサークルですよ♪  
[http://www.geocities.jp/pianoforte\\_narajo/](http://www.geocities.jp/pianoforte_narajo/)

### ■ 吹奏楽部

①12人②毎週火曜日に練習、夏休み中に演奏旅行③月500円④小規模なサークルですが、部員のリクエストに応じて、アンサンブルからポップスまで様々な種類の音楽を楽しんでいます。音楽が好きなら、旅行が好きなら、ぜひ吹奏楽部に遊びに来てください♪

### ■ 管弦楽団

①53人②月・水・金17時~21時③月3,000円④年2回の演奏会の他、商業施設等でのアンサンブル演奏も行っています。新しく楽器を始めたい人、音楽漬けの日々を送りたい人、オーケストラに興味のある人大歓迎です！まずは気軽に見学に来てください。

### ■ ギターマンドリンクラブ

①51人②月・水16:30~③月1,000円④年2回の演奏会に向け、日々楽しく練習してしています！部員の大半が初心者なので、音楽を始めたい方にもびったりです☆皆で一緒に演奏する楽しみを味わってみませんか？ぜひ一度見学・体験に来てみてください♪



## 第17回外国人留学生による日本語スピーチ大会 及び学長主催留学生懇親会

平成22年11月11日(木)午後4時30分から、大学会館2階大集会室にて「外国人留学生による日本語スピーチ大会」が開催され、中国・台湾・韓国・ベトナムの4カ国から10名の留学生が出場しました。一人一人の個性豊かなスピーチは、日頃の日本語学習の成果が見られ、聴衆を感動させていました。今年は、中国からの留学生 鉄玉霞さんが優秀賞に選ばれ、12月2日(木)に行われた奈良地域留学生交流推進会議主催のスピーチ大会で、本学代表として好演し、優秀賞とは僅か1点差で準優秀賞を獲得しました。

スピーチ大会終了後、恒例の学長主催留学生懇親会を生協食堂で行い、留学生の他多くの日本人学生や教職員、そして日頃お世話になっている支援団体の関係者の参加により、盛会となりました。



### 日本語スピーチ大会出場者名と演題

- 曼 達 (中国) 『私と桜』
- 呉 南 (中国) 『イエスカノーか』
- 崔 滯仁 (韓国) 『日本での留学を通じて学んだこと』
- ド ティ ミンフォン (ベトナム) 『ありがとう!』
- 崔 暁銀 (韓国) 『私の夢と日本語』
- 朱 徳秀 (中国) 『私の日本での体験』
- 陶 夢娜 (中国) 『日本が私にくれた色々』
- 王 笑凡 (中国) 『私の今までの夢』
- 鉄 玉霞 (中国) 『留学への決断』
- 邵 盈榕 (台湾) 『日本の生活』

## 平成22年度佐保会奨学金授与式

去る12月1日(水)、平成22年度佐保会奨学金授与式が佐保会館2階生駒ホールに於いて挙行政され、今年度は17名に対して奨学金が授与されました。

佐保会奨学金は、本学卒業生で組織された社団法人佐保会が、昭和34年に本学創立50周年記念事業の一環として募金された基金により、学業・人物ともに優秀であり、研究意欲が旺盛な者として大学が推薦し、佐保会が採用した者に給付されるものです。

また、本学卒業生 溝口泰子氏のご遺志により「東南アジア留学生の勉学を助成する目的」により佐保会に寄付された奨学金により、今年度は東南アジア留学生奨学生枠として3名が選出・授与されました。

<今回奨学金が授与された17名>

学 部	文学部	理学部	生活環境学部
	塚本 志帆	田中 芳実	伊藤 志帆
	田澤 希	徂徠 加奈	中村 みどり
	稲垣 綾	秦野 真衣	伊藤 智恵

大学院	博士前期課程	博士後期課程
	鈴木 紀江	佐藤 晶子
	西浦 佳奈	奥村 奈央子
	牧野 舞	
	松尾 靖子	
	河田 景子	
	増田 実希	

<東南アジア留学生奨学生枠として授与された3名>

学 部	理学部
	テン・ポー・リン

大学院	博士前期課程
	ブンパンヤー・ロート・ピムハタイ
	ファン・ティ・タン・ツル



## 学生表彰

学生表彰制度による表彰式が、2月10日(木)に行われました。



(個人)

天野 沙紀 (理学部3回生 なぎなた部)	第29回関西学生なぎなた選手権大会 初段 個人の部	2位
高田 浩子 (文学部2回生 なぎなた部)	第26回関西学生なぎなた新人戦大会 演技競技 有段の部	2位
	第35回西日本学生なぎなた選手権大会 演技の部	3位
大沼 愛奈 (文学部2回生 なぎなた部)	第29回関西学生なぎなた選手権大会 有段 演技の部	3位
	第26回関西学生なぎなた新人戦大会 演技競技 有段の部	2位
	第35回西日本学生なぎなた選手権大会 演技の部	3位
加藤 由花 (理学部1回生 硬式テニス部)	第34回奈良学生テニス選手権大会 女子シングルの部	優勝
	第34回奈良学生テニス選手権大会 女子ダブルスの部	優勝
田中 千尋 (理学部1回生 硬式テニス部)	第34回奈良学生テニス選手権大会 女子ダブルスの部	優勝
延 奈留美 (理学部2回生 水泳部)	第61回関西国公立大学選手権水泳競技大会	
	第47回関西女子国公立大学選手権水泳競技大会	
	兼第57回全国国公立大学選手権水泳競技大会関西支部予選会	
	女子200m個人メドレー	2位
	女子200m自由形	3位
第48回近畿地区国立大学体育大会	水泳女子200m自由形	1位
	水泳女子200m個人メドレー	2位
田中 まや (生活環境学部4回生 アイススケート部)	第30回国公立大学フリースケーティング競技会 Aクラス女子	3位
清野 朋美 (理学部3回生 合気道部)	第30回関西学生合気道競技大会 演武競技 女子対武器の部	優勝
	第41回全日本学生合気道競技大会 演武競技 女子対徒手の部	2位
重松 夏菜子 (文学部3回生 合気道部)	第30回関西学生合気道競技大会 演武競技 女子対武器の部	優勝
	第41回全日本学生合気道競技大会 演武競技 女子対武器の部	優勝
奥井 彩 (文学部3回生 合気道部)	第30回関西学生合気道競技大会 演武競技 女子対徒手の部	3位
	第41回全日本学生合気道競技大会 演武競技 女子対武器の部	優勝
上垣 沙究野 (理学部3回生 合気道部)	第30回関西学生合気道競技大会 演武競技 女子対徒手の部	3位
三木 望 (生活環境学部3回生 合気道部)	第41回全日本学生合気道競技大会 演武競技 女子対徒手の部	2位
辻本 真美 (文学部3回生 E.S.S.)	The 28th Japan National Debate Tournament 全国本選個人	1位
	The 29th NAFA Tournament 2010 全国本選個人	3位
(団体)		
音楽部	第65回関西合唱コンクール	銀賞
弓道部	第48回近畿地区国立大学体育大会 弓道競技の部 女子	準優勝
卓球部	第48回近畿地区国立大学体育大会 卓球女子の部	3位
E.S.S.	The 29th NAFA Tournament 2010 全国本選(チーム)	準優勝

## 廣岡奨学金について

廣岡奨学金は、本学卒業生 故 廣岡タマエ様(奈良女子大学高等師範学校理科を昭和4年に卒業)のご遺志による寄付金を基金とし、学業・人物ともに優秀な学部学生で、両親のいない又は母子家庭・父子家庭など、学資負担者に特別の事情があり、経済的に修学が困難な者に奨学金を給付し、将来有望な人材を育成することを目的として設けられたもので、現在9名の学生が受給しています。

この奨学金の募集は、学部2回生以上を対象として、4月に行います。具体的な申し込み手続きは掲示によりお知らせします。

## 日本学生支援機構奨学金について

日本学生支援機構の奨学金には、無利息の第一種と利息付の第二種があります。

4月に新年度の奨学生(定期採用)募集を行っています。また、家計急変による緊急及び応急採用の制度もあります。

これらの奨学生募集や奨学生として在学中に必要な手続きについては、掲示(図書館東側掲示板)によりお知らせします。自分にとって不利益にならないよう、募集期間や提出期限等を見逃さないよう、十分注意してください。

## 学生相談室から

### ●学生相談室を、一度訪ねてみませんか。

学業や進路の不安、日常生活で困ったこと、対人関係など、さまざまな心配事について一緒に考えましょう。話を聞いてもらうだけでも、落ち着くこともあります。相談室はあなたの話にじっくり耳を傾けます。そのことで解決の糸口が見つかるかもしれません。内容に応じて適切な人や機関を紹介することもできます。

### ●開室日及び閉室時間

月曜日～金曜日 午前10時～午後5時  
夏季休業期間中は月曜と木曜のみ閉室  
8月第3週と第4週、12月27日～1月5日、入学試験日(前期・後期)は閉室します。  
上記以外で閉室する場合は、構内掲示板や相談室前にその旨を掲示することにより、お知らせします。  
学生相談室の場所は学生会館3階です。

TEL. 0742-20-3925

Eメール sudan@cc.nara-wu.ac.jp

### ●スタッフ

#### ■相談受付

金 文子 (月曜日・水曜日・金曜日)  
岩井 涼子 (火曜日・木曜日)

#### ■カウンセラー

皆藤 靖子 (臨床心理士)  
竹村 百代 (臨床心理士)

#### ■相談員

西村 拓生 (教員)  
片岡 靖隆 (教員)  
鈴木 則子 (教員)



奈良女子大学  
〒630-8506 奈良市北魚屋西町  
TEL0742-20-3235

発行日:2011年3月7日  
発行:学生生活支援室  
印刷所:共同精版印刷株式会社